

(3) 消防職員への接種について

消防職員の3回目接種のこれまでの経緯

- 消防職員については、原則として医療従事者等に該当し、3回目接種の前倒しの対象となったことから、令和3年12月以降、早期の接種等を求める事務連絡を発出。

日時	事務連絡	ポイント
令和3年 12月20日 (月)	(事務連絡) 初回接種完了から8か月以上の経過を待たずに新型コロナワクチンの追加接種を実施する場合の考え方について	・ 消防職員への3回目接種が2回目接種から6ヶ月に前倒しすることが可能とされたことを周知し、衛生主管部局との連携の下、 <u>消防職員の追加接種を円滑に進めていただくよう依頼。</u>
令和4年 1月14日 (金)	(事務連絡) 救急隊員等の追加接種の速やかな実施について	・ <u>消防職員の3回目接種をできる限り1月末まで、遅くとも2月末までに完了することを依頼。</u>
令和4年 1月18日 (火)	(事務連絡) 新型コロナウイルス感染症患者の搬送に携わる救急隊員等の新型コロナワクチンの追加接種状況の緊急全国調査について	・ 消防本部に対して、消防職員に対する追加接種の2月末までの終了見込みについて調査。 ・ <u>消防本部において積極的に消防職員の追加接種状況の把握に努めていただくよう依頼。</u>

- このほか、消防庁長官以下幹部が各消防本部の幹部職員に対し、全国消防防災主管課長会議など、各種会議の場などにおいて、2月末までの3回目接種完了等を直接働きかけ。

消防職員の3回目接種の終了見込みについて

消防職員への3回目接種の2月末までの概ねの終了見込みを把握するため、消防本部（全724本部）に対して、緊急全国調査を実施。終了しない見込みの本部に対しては、随時聞き取りを行い、対応を促している。

時点	終了する見込み	終了しない見込み
1月20日	668本部（92.3%）	56本部（7.7%）
1月25日	712本部（98.3%）	12本部（1.7%）
1月31日	717本部（99.0%）	7本部（1.0%）